

# 03 F-105D

## サンダーチーフ

### デカールの の貼り方

- ①デカール表面にある透明の保護シートをていねいにはがします。
  - ②貼りたいデカールをハサミで切り取り、台紙を下にして20秒ほど水に浮かべます。
  - ③デカールを貼りたい位置に置き、台紙をずらします。
  - ④デカールを正しい位置にあわせ、水気をふきとります。
- ※(株)GSIクレオスから発売されているMr.マークセッターなどを使用すると貼りやすくなります。



### A 357戦術戦闘航空団 355戦術戦闘飛行隊



### B 23戦術戦闘航空団 563戦術戦闘飛行隊



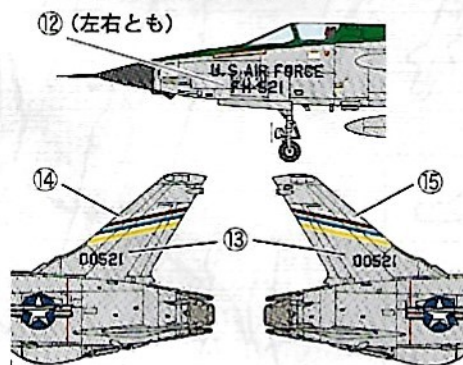
### A その他のデカール使用例

355戦術戦闘航空団  
44戦術戦闘飛行隊



### B その他のデカール使用例

36戦術戦闘航空団

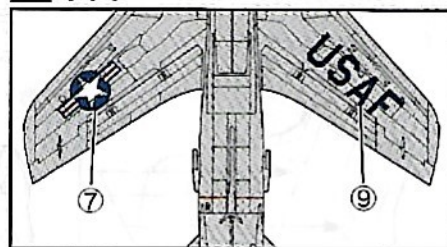


⑫ その他の番号 ⑬ その他の番号

FH-374

05374

### B 下面



### C 301戦術戦闘航空団 466戦術戦闘飛行隊



万一、不都合品がありましたら、下記住所宛に現品をお送りください。代品と送料をお送り致します。

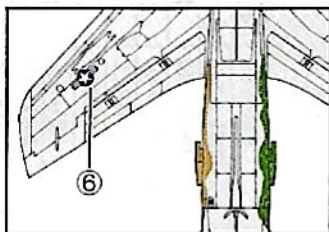
エフトイズ・コンフェクト お客様相談室

〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-3-15

☎ 06-6626-6060

電話受付時間：月～金曜日(祝日を除く)10:00～17:00

### A 下面





リパブリックF-105サンダーチーフは、P-47サンダーボルト、F-84サンダージェットなどタフな戦闘爆撃機が得意な別名「リパブリック鉄工所」が開発した超音速戦闘爆撃機。F-105以前の戦闘爆撃機とは、P-47サンダーボルトやF-100スーパーセイバーのように純粋な戦闘機として開発したが、本来の任務の必要性が薄まったため爆弾を搭載して対地攻撃機としたら案外使えたという程度のものであった。それに対してF-105サンダーチーフは当初から核爆弾を搭載し、高速で敵地に侵入して攻撃を実施する生まれながらの戦闘爆撃機として計画された。戦闘機でありながら胴体中央部に核爆弾を収容する爆弾倉を備えているところに特異な性格が表われている。

機体のデザインは前作RF-84Fサンダーフラッシュを踏襲しており、主翼付け根に空気取り入れ口を配置し、胴体後部に当時最強なJ75ターボジェットエンジンを搭載している。1955年に初飛行した試作機YF-105Aは超音速飛行にも成功したが事故で試験飛行が遅れてしまい、その間に胴体をコークボトル状として空気抵抗を減じるエアリアルールや、エッジを突出させて衝撃波をコントロールする楔形のエアインテイクなど新技術を採用したYF-105Bを開発しマッハ2級の性能を獲得することに成功した。

1958年から部隊へ配備が始まり、1962年からは嘉手納基地(当時はアメリカ施政下)や板付基地(現在の福岡空港)に配備さ

れ、後に東京近郊の横田基地へ移動しドラッグシュートを曳いて着陸するその特異な姿を目にすることも多かった。

ベトナム戦争では幸い核爆弾を使用する状況が生じなかったものの、爆弾倉に燃料タンクを収容し胴体下や翼下に爆弾やロケット弾を搭載して北爆の主力として使用された。830機生産されたうちの半数以上が戦闘やトラブルで失われる激闘を演じている。また、空中戦は不得手と見られF-100スーパーセイバーに護衛を頼むこともしばしばあったが、迎撃にあがった28機のMiGを20mmバルカン砲を主に使用して返り討ちにしている。

ベトナム戦争途中で後継機F-4ファントムに任務を引き継ぎ米本土へと戻ったが、翼面荷重が高く頑丈な機体は低高度侵入に適しており、州兵航空隊で1983年まで使用された。

なお、リパブリック社は1965年にフェアチャイルド社に吸収されるが、のちにA-10サンダーボルトIIを開発し、リパブリック鉄工所の伝統を残している。

● F-105D データ

全長	19.61m
全幅	10.64m
全高	5.99m
全備重量	23,837kg
最大速度	マッハ2.1
上昇限度	15,850m
航続距離	3,334km
武装	20mmバルカン砲×1
爆弾搭載量	約6,700kg
エンジン	J75-P-19W
アフターバーナー推力	11,920kg

## 組立方

- 脚パーツは細かい部品のため、破損しやすいのでご注意ください。
- ランナーから切り取る際はニッパー等をご使用になり、残りをカッターで削り取れば、よりキレイに仕上がります。刃物の取り扱いには十分にご注意ください。
- 取り付けにはピンセットを使用すると組立てやすくなります。

キャノピーとレドームを付けます。

主翼と尾翼を付けます。

燃料排出口を付けます。

タンクなどパーツを付けます。

飛行状態

着陸状態



前



前

飛行状態

着陸状態

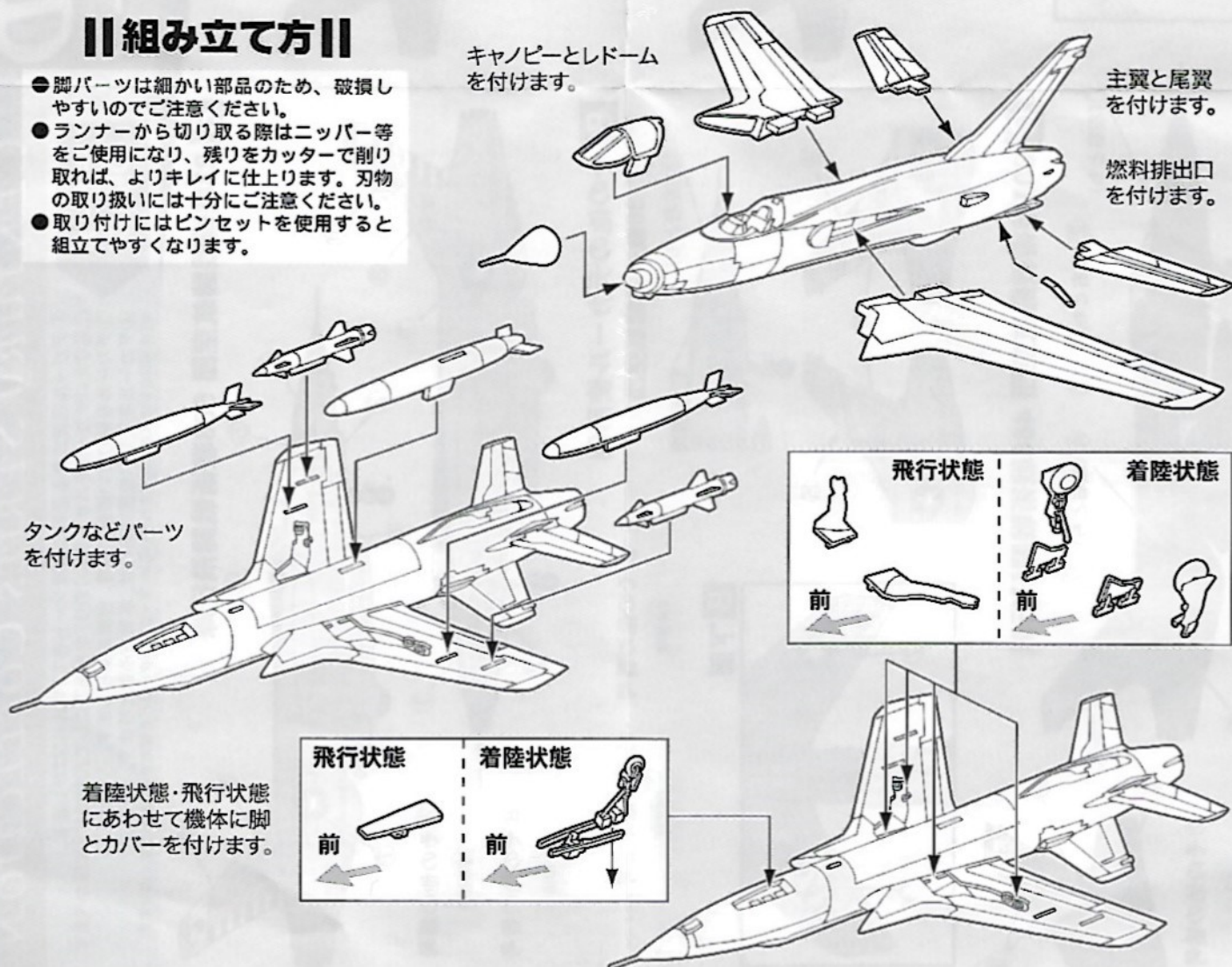


前



前

着陸状態・飛行状態にあわせて機体に脚とカバーを付けます。



①

*Milcom*

*Milcom*

②



④



③



⑤

AFRES



⑥

AFRES



⑨

⑦

AF 301  
62

AF 347  
62

⑧



HI

AF 301  
62

AF 347  
62

HI

3-C